

2026年度

こどもニュース

6.26 発行

No. 6



【内科検診・歯科検診がありました！】

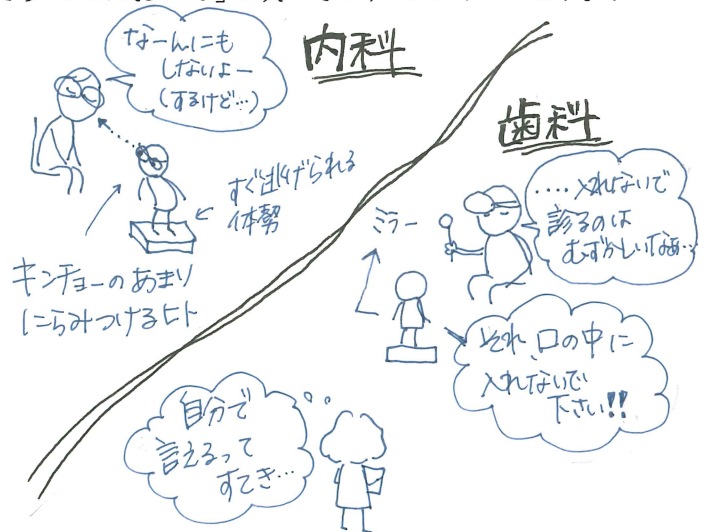
6月1日に内科検診、11日には歯科検診がありました。白衣のお医者さんは「絶対いや!」「怖い!」というお友達もいますが、内科の川瀬先生、歯科の柴田先生、どちらの先生も実は卒園生の保護者で園の事をよく知ってくださるので、子ども達への声掛けも優しく、気持ちにも寄り添ってくださりスムーズに実施することが出来ました。

園での検診は自分で先生の前に立って診察していただきます。並んだ椅子に順番にすわり前のお友達が終わったら順々に移動していきます。それぞれがドキドキしながらも(あ、お隣の席、空いた)と気づき、前に詰めたら「ここにおいて」と次の子に声をかけています。そんな小さな場面でも主体的に行動し、関わり合う子ども達の姿。素敵です。

また、お兄さんやお姉さんが「お願いします」「ありがとうございました」とあいさつして受診している姿を見ると、(カッコいいな)(大丈夫そう)と気持ちも変わるのか、まねっこして挨拶している年少さんもありましたよ。

昨年度、「やだー」と泣いていたのに今年もしっかりと「お願いします」という姿を見せてくれた子ども達もたくさん

いました。その姿を「大きくなったねー」と園医の先生方と喜び会えた事も、この園ならではのなと感じました。検診結果は後日にお伝えします。必要な場合はかかりつけ医への受診や治療等よろしく願いいたします。



【毎日プールができる幸せ】

5月末に園庭ワークでウオータースライダーを設置し、プールの準備もできました。以降、雨が降らなければ毎日プールが「開業」しています。(笑)

ほとんどの保育施設では夏のプール遊びは「クラスごと」に「20分交代」などで計画的に入りますからプールの日にお天気が悪いと次の順番が回ってくるまでは入れない事もしばしば。また最近の気候変動の影響により外気温が40度近くなり、そもそも暑すぎてプールにも入れない、という園もあるようです。幸い、本園は樹々に囲まれ涼しい風も吹く中、曇りの日にはちょっぴり「温水」も混ぜて、毎日快適にプールに入ったりウオータースライダーをすべったり…。

スイミングスクールではありませんから「泳げるように」ということではありません。心も身体も開放して、水の心地よさ、ドロドロの地面の感触、スライダーでのスピード感など夏ならではの遊びを五感で楽しんでほしいと思っています。

また、そのような体験が出来る事を神様に感謝したいと思います。

まだまだ、夏は続くぞー！

【家族の日】

園では毎年6月に「家族の日」を設けています。これは園のスクールモットー「愛され、育ちあう」を基に「私達を愛し育ててくださる神様がお与えくださった家族の愛と支えの中で過ごせることの幸を感じる。その中で大人も子どもも共に育ちあう恵みをいただいていることへの感謝と喜びを表す日」とすることが願いです。

プレゼントに限らず「もらう」事の多い子ども達ですが、いつも見守ってくれる家族に想いを寄せ「贈る喜び」も知ってほしいと願い、各学年ごとにプレゼント作りに取り組みました。それぞれの年齢ごとに大切にしているねらいや子ども達に経験してほしい事を組み入れながら製作しました。

今回のこどもニュースはそのねらいや製作する過程での子ども達の様子などを中心に お伝えします。

そして幼稚園全体も神様の家族であることを忘れないでいたいと思います。私達は神様によって奇跡の様に会わせていただいた、かけがえのない一人ひとりです。そのことに感謝し、こども達を通し、広がる関係を大事に、育ちあう家族として支えあっていきたいと思っています。

児玉 芽 

年長さんからのプレゼントは…ほごみつです♥



☆うちのお父さんお母さんは…

子ども達に「おうちの人のステキなところ、教えてくれるかな?」と聞くと、「うちのパパは目玉焼きを作るのが上手!裏返すのがすごいんだよ!!」とか「ママは夜に背中をトントンしてくれる」とか「パパは学校で野球を教えてるんだよ」とか「ママはいつも愛してくれる」など本当にたくさんのおうちの人のステキなところを教えてくださいました。中には「パパは野菜食べないんだよね」とか「パパはめっちゃお菓子食べるんだよね」など、なぜかパパの裏話も教えてくださいました(笑)お母さんだけでなくお父さんの話もたくさん出て、さすがこの園はイクメンパパばかりで素敵だと思いました。子ども達の話からたくさん愛されて育ってきたことがよく分かり、幸せな子ども達だと改めて思いました。

☆プレゼントの名前もみんな決めました☆

出来上がったプレゼントにどんな名前をつけようか?と話し合いをしました。一番初めに発言した子が“ほごみつ”と言うと、みんな??という顔をしていたので、説明してもらおうと「保護者証をいれるもので、みつあみで作ったから」と教えてくださいました。保育者の私たちも含めみんななるほど!と納得しました。他にも色々な名前を考えてくれたのですが、初めの“ほごみつ”のインパクトが凄すぎて多数決で一番人気となり、プレゼントの名前は“ほごみつ”に決まりました!昭和生まれの私にとって、短く省略して言いやすい言葉にできるところがさすが今どきの若者!と思いました(笑)ステキな名前に決まって良かったです。

☆なんか、三つ編み 分かってきたかも!

年長さんになってやりたいことを聞いた時に、たくさん子どもたちがやりたいと言っていた縄跳び作り。しかし、いきなり長い縄跳びを、キュッキュッときつく締めながら編むのはなかなか難しいです。そこで、縄跳び作りに向かう前段階として、リボンで三つ編みの経験をすること、それを大切な家族に贈ることを子どもたちに提案しました。リボンを選ぶ時には「これはママに、これはパパの分。」と、家族を想って選ぶ姿がありました。三つ編みが好きで、遊びの時間に繰り返し経験してきた熟練の子もいれば、初めて三つ編みに挑戦した子どももいますが、どの子も意欲的に取り組む姿はさすが年長さん!“三つ編みするぞ!”というやる気が伝わってきて、嬉しく思いました。

初めて三つ編みをした人は、3色を「赤、青、白、赤、青、白…」と順番を覚えて、真ん中に置いていきました。3本を両手で持って動かすことが難しい場合は、机の上で押さえたり、保育者が押さえながら編んだりしました。初めは「できない…」と言っていた子も「赤、青、白…」と呟きながら真ん中に置くうちに出来てきた編み目を見てにっこり(^^)。カードの4カ所分三つ編みをすると「なんか、分かってきたかも!」と手を動かして経験したからこそその実感を得ていました。

(AKI & ゆきえ)

＜ 年中あつまり ＞

年中さんからのプレゼントは…

「だいすき♡ ほんでも かざってね♫ ポード」

です!!

描いた絵や写真
ぬりえや折り紙などを
「かざってほしい!」と
おねえてくれましたよ

「みんなのおうちのひとは、どんな人?」と聞くと、あちこちから手が挙がり、大好きなところを教えてくださいました♪「ありがとう」の気持ちをたくさん詰め込んだ、世界に一つだけのプレゼントづくりがスタートしました!

＜ 「ツルツルになあ〜れ!」のやすりがけ ＞～粘り強く、あきらめない心～

最初は、板に対してやすりをどう当てれば削れるのか分からず、「全然ツルツルにならないよ…」と手が止まってしまう子や、「腕が疲れちゃった」と休憩する姿もありました。それでも、お友達が上手に削っている様子を見て真似をしたり、少しずつ力を入れるコツを挿んでいく年中さん。「あ!スベスベになってきた!」「木の粉がこんなに出てきたよ!」とあちこちから嬉しい声が聞こえてきました。最後まで諦めずに根気よく擦り続け、触り心地抜群のなめらかな土台が完成しました。



＜ ○△□でなにをつくろう? ＞～イメージを形にする、ひらめきと丁寧さ～

色とりどりの○・△・□のフェルトで飾り付けです。「この形をくっつけたら、どんなものに見えるかな?」と質問すると、子どもたちのアイデアが一気に膨らみます!「△を2つ合わせたら、可愛いリボンになる!」「□の上に△を乗せて、お家!」など、次々に面白いひらめきが飛び出します。フェルト選びでは、「どのフェルトが必要かな?」とじっくり選ぶ子や、まずは取るだけ取って試してみる子など、一人ひとりが一生懸命考えて進めていました。小さなフェルトの端までボンドを細かく塗る作業にはすこし苦戦していましたが、丁寧に指先でそっと押さえながら、大満足の可愛いデザインを作り上げました。



＜ カードかきとラッピング ＞～おうちの人を想い、心を込めて～

ミニカードには「ありがとう」や「だいすき」の文字を書いたり、眼鏡などおうちの方の顔をよく思い出して描きました!最後は、自分でラッピングにも挑戦!袋がちよっぴりクシャツとなっていたり、テープが歪んで重なっていたりするかもしれませんが、不格好なラッピングにギュッと詰まった子どもたちの思いごと、丸ごと受け止めていただけたら嬉しいです。

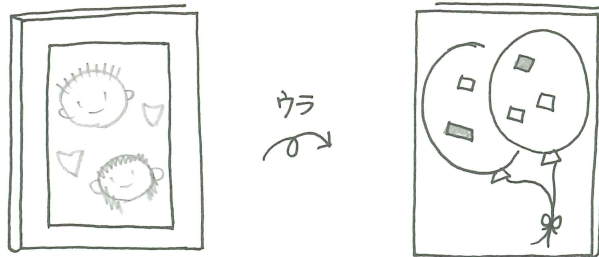


世界にたった一つの、子どもたちの愛情がたっぷり詰まったプレゼント。ぜひご家庭で大切に使用いただけたら幸いです!



年少さんからの家族の日のプレゼントは・・・

“うちのひと だいすきファイル”です♪



〈だ～いすき♡〉

初めて家族のためにプレゼント作りをする日。まずは『うちのかぞく』（文：谷口國博 絵：村上康成 世界文化社）という絵本を読みました。そして、家族のことをどんな風に思っているのか、子どもたちに聞いてみました。すると、あちらこちらから「だいすきっ♡」「みんないっばいすき～♡」と可愛い声。大好きな人に“ありがとう”の気持ちを込めてプレゼントを作る子どもたちの様子をお伝えします。

とってもおもしろい絵本なので
ぜひ読んでみてください！



〈クレパスで絵を描いてみたよ☆〉

うちの人を思い浮かべながら顔を描いたり、自由にのびのびと絵を描いていた子どもたち。「ママは○色が好きだから」とクレパスの色にこだわって絵を描いている子もいました。表紙の絵は、一人ひとりの素敵な作品です。“だいすき”という気持ちが伝わってきますね♡

年少さんのこの時期は、クレパスを握り持ちしている子もまだまだ多くいます。そこで今回、親指・人差し指・中指を使った三指持ちを伝授！すぐに正しい持ち方ができるようになるわけではありませんが、肘や手首、指先を意識して使うことがだんだんとできるようになってくる時期なので、繰り返し経験していきたいと思っています。

絵は手の運動でもあるので...



ぐるぐるの
殴り書きが...



だんだんと
細かく描けるように
なっていくのです！



“うちのひと”として
妹着の絵を
描いてくれる子も!!

〈はさみで上手に切れるかな☆〉

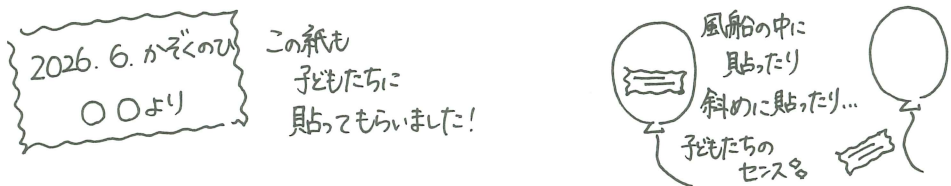
はさみを使って一回切りにも挑戦してみました。まずはクレパスと同様に、正しいはさみの持ち方を伝授！そして、使ったら片づけることや人に向けないことなどの“おやくそく”も伝え

ました。子どもたちはとっても静かに話を聞いてくれていて、なんて素敵な年少さん♡
 はさみの使い方が分かったら、次は実践ですっ!!細長い画用紙をはさみでチョキン。細かく
 たくさん切っている子もいれば、慎重に切る子、上手くはさみが動かせず画用紙がグニャッ
 となってしまう子も。初めて経験した子もいたかもしれませんが、保育者と一緒に繰り返し
 返し切っていくうちに、1人ではさみを開いたり閉じたり動かせるようになっていました。



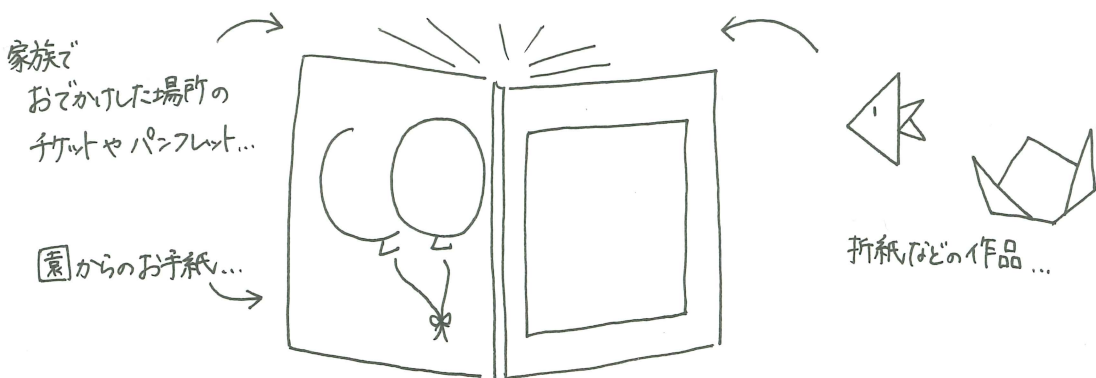
<糊付けに挑戦☆>

一回切りした画用紙は、風船の絵に糊で貼って裏表紙になっています。
 貼り付ける道具としてはセロハンテープやスティック糊がお手軽で主流となってきている現代、
 家庭では指先で でんぷん糊を使って貼ることはあまりないかもしれません。けれども、
 糊の扱い方もでんぷん糊特有の感触も、指先の発達にとって大切な経験です。
 今回は糊の量が多くなり過ぎないように、“お米一粒分”を意識しながら貼っていきました。
 初めて使う糊に戸惑いながら糊の塗っていない面を貼ろうとしている子、きっちり端まで糊
 付けしている子、「先生、これくらい大丈夫かなあ?」と一枚いちまい糊の量を確認しながら
 貼っていく子……。どの子も思い思いに糊付けを行いました。大好きなおうちの人へのプ
 レゼントとして、「これがお母さんの好きな色で、これはお父さんの好きな色で……」と画用
 紙一つひとつに想いを込めながら貼っていく年少さんもいましたよ。



今回のポケットファイルの中には、園で行っているもしくはこれから行う予定の「手遊び」
 を紹介する紙が入っています。お子さんと一緒に、ぜひご家庭でも楽しんでみてください。
 また、空いているポケットにはお子さんの作品を入れるなど、活用していただけたらと思いま
 す。世界に一つだけの素敵なファイルになりますように!

(ゆかえりや)





家族の日のお話をするときに、ひろかわさえこさんの絵本でぶくちゃんシリーズの「ぶくちゃん
のたくさんだっこ」という絵本を読みました。お出かけするお母さんと別れて、おじいちゃんとおば
あちゃんのおうちでおるすばんするぶくちゃん。ほんわかだっこのおばあちゃん、ゆったりだっこの
おじいちゃん。そしてお迎えに来たおとうさんはしっかりだっこ。にじぐみさんもそれぞれの場面に、
自分のおうちの人を思い浮かべるように嬉しそうに見入っていました。そしてやっと帰ってきたお
母さんの抱っこはふわふわほかほかのあったかだっこです。おかあさんに抱っこされているぶく
ちゃんを見てみんなもほっと一安心の表情でした。「〇〇ちゃんもママのだっこがすき♡」「ぼくは
パパのだっこがいい!」とそれぞれ教えてくれました。



そんな子どもたちに『いつもありがとう』の気持ちを込めて、「おうちの人にプレゼントを作ら
ない?」とお話をしたときは「ん??」と初めはきょとん。「みんなプレゼントをもらったら嬉しいよね
ー。今度はみんなからプレゼントをしよう!」と話す、「お誕生日におもちゃもらった!」「おばあ
ちゃんが服買ってくれた!」とだんだん嬉しそうな顔になりました。「おうちの人には秘密。きつとびっ
くりするよ〜」と伝えると、さらにわくわくしながら楽しくプレゼント作りに取り組み始めました。

さて、そのプレゼントは「ひよこちゃんの小物入れ」です。にじぐみさんの小さな手で手形を押
し、ひよこさんの羽に見立てました。この小さな手のサイズ感が、とてもかわいらしく三歳になっ
たばかりの記念になることと思います。そしてひよこのお顔をクレパスで描きました。まるが描ける
ことが嬉しくて好きな色でクルクルと目を描いたり、体にもカラフルな模様を描きました。

そして好きな形の箱を選んで、柄入り色紙で飾りつけをしました。数枚張って「もういい」と言
っていた子も「あと少しママの好きな色の紙を貼ってあげようか。」と声を掛けると「ママは黄色
が好きー」「パパはあお!」「おねえちゃんはピンク!」ともうひと頑張り出来ました。

「小物入れには何を入れてもらおうか。」と聞くと「アクセサリーがいいんじゃない?」「とけい
をいれてもらう!」「おやつがいい!」などなどそれぞれおうちの方を思い考えていました。

皆さんで話し合って「なにかいいもの」を入れて大切に使ってくださいね。

そして家族の日には頑張ったみんなにスペシャル抱っこをしてあげてください!

